

第 71 回 代数学シンポジウム

第 71 回 代数学シンポジウムを下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日程：2026 年 9 月 8 日（火）～ 9 月 11 日（金）

会場：新潟大学 五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 B355 室

(<https://www.niigata-u.ac.jp/university/map/ikarashi/> の S10 の建物)

開催方法：現地開催（オンライン配信なし）

主催：日本数学会代数学分科会*¹

プログラム責任者：

[代数幾何] 伊藤 敦（筑波大学）・佐野 太郎（神戸大学）

[環論] 中岡 宏行（琉球大学）・吉田 健一（日本大学）

[数論] 太田 和惟（大阪大学）・田坂 浩二（近畿大学）

[群論・表現論] 鈴木 武史（岡山大学）・飛田 明彦（埼玉大学）

会場責任者：小島 秀雄（新潟大学）

シンポジウム責任者：高木 俊輔（東京大学，連絡責任評議員）

プログラム

9 月 8 日（火）

10:15–11:15 内田 幸寛（東京都立大学）

有理的デザイン，組合せデザインと Diophantus 方程式

11:30–12:30 藤田 直樹（熊本大学）

Marked chain-order 多面体とトーリック退化

14:00–15:00 坂本 龍太郎（筑波大学）

Euler 系の加群の構造について

15:15–16:15 山田 裕史（立教大学）

KdV 方程式の組合せ論

16:30–17:30 佐久川 憲児（信州大学）

代数曲線の副 p 基本群に由来するガロワ表現の p 進族について

9 月 9 日（水）

10:15–11:15 高村 茂（京都大学）

群論から高次群論へ 群論版ベズーの定理を起点として

*11:30–12:30 鈴木 正俊（東京科学大学）

Weil の明示公式に付随する二次形式について

*1 本研究集会は、以下の科研費による支援を受けています：科学研究費補助金 基盤研究 (B) (研究代表者 高木俊輔，研究課題/領域番号 23K22383)

*14:00–15:00 ツァン シンイー (お茶の水女子大学)

An introduction to skew braces and their differences from groups

*15:15–16:15 相原 琢磨 (東京学芸大学)

多元環の準傾変異理論

*16:30–17:30 吉永 正彦 (大阪大学)

超平面配置の Varchenko–Gelfand 環

18:00–20:00 懇親会 (会場：第1 学生食堂)

9 月 10 日 (木)

*10:15–11:15 木田 雅成 (東京理科大学)

L 関数を共有する代数体について

*11:30–12:30 岡田 聡一 (名古屋大学)

Equinumerosity between standard tableaux and vacillating tableaux

*14:00–15:00 東谷 章弘 (大阪大学)

次数付き環の Hilbert 級数と環論的性質

*15:15–16:15 高木 寛通 (学習院大学)

Constructions and characterizations of prime \mathbb{Q} -Fano 3-folds via key varieties

16:30–17:30 齋藤 峻也 (東京大学)

様々なアーベル圏における部分圏の分類

9 月 11 日 (金)

10:15–11:15 金沢 篤 (早稲田大学)

4 次元一般化 Calabi–Yau 多様体とミラー対称性

11:30–12:30 宮崎 充弘 (大阪公立大学)

Gorenstein 性と Cohen–Macaulay 性の間にある可換環の新しい性質,
canonical trace radical 性について

14:00–15:00 高松 哲平 (埼玉大学)

準 F 分裂とその応用

15:15–16:15 山口 樹 (東京科学大学)

Plus-pure thresholds of diagonal hypersurfaces in mixed characteristic

16:30–17:30 山岸 亮 (九州大学)

籠の表現のモジュライとその双有理幾何学

「*」の付いた講演は、専門分野以外の方も対象とした、サーベイなどを含む講演です。